

第26期 中間期(2006年8月)

決算報告と分析

2006年10月



第26期中間期決算報告

2006年（H18年）8月中間期 決算のポイント

	実績	前年同期	(前年同期比)	当初予想発表数値	(予想対比)
売上高	5,902 百万円	5,614 百万円	105.1%	6,042 百万円	97.7%
営業利益	△ 137 百万円	125 百万円	—	△ 107 百万円	—
経常利益	△ 148 百万円	115 百万円	—	△ 127 百万円	—
当期純利益	△ 151 百万円	71 百万円	—	△ 158 百万円	—

・期中平均生徒数⇒前年同期比 +1,005名(104.4%)
(既存校ベースで101.3%)

・売上高⇒前年同期比105.1%、既存校ベースで101.9%

※減損損失計上 39百万円

2006年（H18年）8月中間期 決算のポイント

部門別売上高・生徒数

	部門別売上高実績			生徒数		
	実績	前年同期	(前年同期比)	期中平均	(前年同期比)	
小 中 部	2,547 百万円	2,543 百万円	100.2%	10,081 人	101.7%	
高 校 部	686 百万円	632 百万円	108.6%	2,642 人	102.0%	
個別指導部	2,462 百万円	2,244 百万円	109.8%	10,273 人	109.7%	
英会話事業部	79 百万円	81 百万円	97.6%	743 人	91.8%	
家庭教師事業部	48 百万円	66 百万円	74.0%	205 人	78.5%	
Net学習事業部	10 百万円	1 百万円	745.6%	— 人	—	
FC事業部	65 百万円	45 百万円	143.8%	— 人	—	
計	5,902 百万円	5,614 百万円	105.1%	23,944 人	104.4%	

※Net学習事業部の生徒数は他の事業部に含まれております。

2007年（H19年）2月期 業績見通し(連結)

	通期予想	前年同期	(前年同期比)	当初予想発表数値	(予想対比)
売上高	12,640 百万円	12,026 百万円	105.1%	13,036 百万円	97.0%
経常利益	360 百万円	975 百万円	36.9%	500 百万円	72.0%
当期純利益	157 百万円	422 百万円	37.2%	258 百万円	60.9%

- 上半期実績は、期中平均生徒数、売上高とも既存ベースでも前年を上回っているが、予想数値を下回る結果となったため、通期予想を修正
- 平成18年3月の新入社員は115名採用（事件前に、採用決定）

業績見通し(連結)：業績の季節変動

上・下半期比較...下期に利益がシフトする傾向

		上半期	下半期	通期
07/2期	売上高	5,902	6,738	12,640
	前年比	105.1%	105.1%	105.1%
	(当初予想)	(6,042)	(6,994)	(13,036)
	費用	6,050	6,230	12,280
	前年比	110.0%	112.2%	111.1%
06/2期	(当初予想)	(6,169)	(6,367)	(12,536)
	経常利益	▲ 148	508	360
	前年比	—	59.1%	36.9%
	(当初予想)	(▲ 127)	(627)	(500)
	売上高	5,614	6,411	12,026
06/2期	費用	5,499	5,551	11,050
	経常利益	115	860	975
	売上高	4,588	5,286	9,874
05/2期	費用	4,359	4,641	9,001
	経常利益	229	644	873
	売上高	3,911	4,489	8,400
04/2期	費用	3,847	3,946	7,794
	経常利益	63	542	605
	売上高	3,438	3,827	7,265
03/2期	費用	3,267	3,356	6,623
	経常利益	170	471	642

(注1) 営業外収支は営業外損益を費用に算入。単位：百万円。

拠点数(直営)

拠点数 (2006年10月17日現在)

	京都	滋賀	大阪	兵庫	奈良	愛知	三重	岐阜	埼玉	千葉	東京	神奈川
小 中 部	30	28	5		5	11		1				
高 校 部	5	4	1			1						
個 別 指 導 部	34	19	36	21	16	13	1	0		1	3	1
英 会 話 事 業 部	2	1										
家庭教師事業部	1											
Net 学 習 事 業 部	1											
直営計	73	52	42	21	21	25	1	1	0	1	3	1
個別指導フランチャイズ	2	2	7	1	2	8			1	3	6	6
京進ブランド計	75	54	49	22	23	33	1	1	1	4	9	7

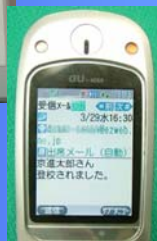
	長野	石川	岡山	広島	香川	徳島	福岡	熊本	鹿児島	海外	計
小 中 部										3	83
高 校 部											11
個 別 指 導 部			1	1	2	1		2	1		151
英 会 話 事 業 部											3
家庭教師事業部											1
Net 学 習 事 業 部											1
直営計	0	1	1	2	1	0	2	1	0	3	252
個別指導フランチャイズ	1			3	2	1	3	1	1		50
京進ブランド計	1	1	1	5	3	1	5	2	1	3	302

安全対策についての取り組み



ハード面での対策は完了

⇒ソフト面での対策をさらに強化



安全対策についての取り組み：従業員研修

危機察知研修の実施（2006年度 延べ6,000名）

	タイトル	内容
講義	① ストレスマネジメント	人間は生活の中で、様々なストレスを受けている。ストレスというものが、どのように生じ、どのように人間の心理に影響を与えるのかを説明する。また、ストレスに対する対処方法について学ぶ。
	② 心理的危機のサイン	心の健康が損なわれると、さまざまな兆候やサインが現れる。それについての正確な判断は、専門家にゆだねられるべきであるが、自分自身や周囲の人々の心の健康を察知するための知識は一般に共有されるべきである。その基礎について学習する。
	③ 対人トラブルと対処法	人間にとって、対人関係のトラブルがもっとも大きなストレスになる。対人関係のトラブルがどのように起こるのか、それが自分の性格とどのように関係するのか、そうしたトラブルを避けるためにどのような工夫が必要なのか、事例を踏まえ学ぶ。
	④ カウンセリングの基礎	「話を聴く」というのは、単に録音機になることではない。相手の話しの本質を捉えるためには、知的・情緒的な情報処理をフルに使わなくてはならない。相手の気持ちを汲み取りながら、話の本質を捉える、対人援助的な「聴く」技術について学習する。
実演	⑤ カウンセリング技術	1対1場面でカウンセリング的に相手の話を聴くための技術を、ロールプレイ体験を通して身につける。少人数（6～8名）でグループとし、メンバーがペアになって、互いの耳に耳を傾ける体験を持つ。
	⑥ コミュニケーション力	臨床心理学を基礎として独自に開発した、職場におけるコミュニケーション力を診断できる質問紙によって、自己のコミュニケーションパターンへの理解を深めます。
	⑦ 感受性訓練	様々な感覚モードを用いた感受性向上のための体験技法を学ぶ。身体を使ったさまざまな体験、ブラインド・ウォーク、イメージを使ったアクティビティなど、普段使わない感覚モードを活性化させることで、心の柔軟性をアップすることを目指す。
	⑧ フォローとコーチング	ニーズに応じて、研修後にコーチングを実施することで、研修中の分析で明確になった問題点を継続的に検討。改善したスキルの定着を図ることが出来る。

■上半期：管理職対象集合研修
約300名⇒下半期にvol. 2予定
■全従業員対象講義研修中

防犯訓練も全校で実施

■各校周辺警察署にご協力いただき、全校拠点で実施。
497名参加
（対象校での参加比率91.9%）
■下半期、講師対象に全校実施

安全対策についての取り組み：価値観浸透

京進ハンドブック～価値観を行動レベルにブレイクダウン

全部署において毎日のミーティングでテーマカレンダーごとに意見を交換し、リーダーとメンバーで内容を掘り下げる



日	テーマ	ページ
1日	結果発表：私たちは、世界の最前線・最先端の、日本の未来に貢献します	4
2日	内閣：経営者としての責任	5
3日	経営者：経営者としての責任を担います	6
4日	企業：企業としての責任を担います	7
5日	企業：企業としての責任を担います	7
6日	企業：企業としての責任を担います	8
7日	企業：企業としての責任を担います	9
8日	企業：企業としての責任を担います	10
9日	企業：企業としての責任を担います	11
10日	企業：企業としての責任を担います	12
11日	企業：企業としての責任を担います	13
12日	企業：企業としての責任を担います	14
13日	企業：企業としての責任を担います	15
14日	企業：企業としての責任を担います	16
15日	企業：企業としての責任を担います	17
16日	企業：企業としての責任を担います	18
17日	企業：企業としての責任を担います	19
18日	企業：企業としての責任を担います	20
19日	企業：企業としての責任を担います	21
20日	企業：企業としての責任を担います	22
21日	企業：企業としての責任を担います	23
22日	企業：企業としての責任を担います	24

新設のページは、「新設」ハンドブックに掲載のページです。

行動セルフチェックシート

【全職員共通】

	9/4	9/5	9/6	MEMO
1.5				
1.4				
1.3				
1.2				
1.1				

意識の一致を

	9/4	9/5	9/6	MEMO
1.5				
1.4				
1.3				
1.2				
1.1				

【注意】働き方改革

	9/4	9/5	9/6	MEMO
1.5				
1.4				
1.3				
1.2				
1.1				

自己成長を促す行動セルフチェックと全社集計

安全対策についての取り組み：面談重視

社員面談

役員・部長で分担し、全校を訪問、全社員と個別面談
⇒11月末まで100%実施予定

講師面談

校長等による年2回
全講師と個別面談



社員面談シート

所属	社員番号	記入日	氏名
----	------	-----	----

(1) 次の質問にお答えください。(「はい」は「1」、「いいえ」は「2」、「どちらでもない」は「3」を入力)
※できるだけ「はい」「いいえ」でお願いします。
「いいえ」「どちらでもない」を選んだ場合、簡単に理由を記述してください。

質問	回答	理由
① あなたの意見が部の方針や計画に活かされていると思いますか？		
② 同じ職場に自分の意見をオープンに話せる人がいますか？		
③ あなたは会社から大切にされていると思いますか？		
④ あなたは直属の上司から評価されていると思いますか？		
⑤ あなたと直属の上司・同僚との関係は良いと思いますか？		

(2) 現在の職場についてお答えください。
①現在の職場はあなたにとって魅力ある職場ですか？
「はい」は「1」、「いいえ」は「2」を入力してください。 回答

②要望、改善提案、意見、質問があればお書きください。(①の質問とは関係なくお書きください)

(3) 京進についてお答えください。
①京進はあなたにとって魅力的な会社ですか？
「はい」は「1」、「いいえ」は「2」を入力してください。 回答

②要望、改善提案、意見、質問があればお書きください。(①の質問とは関係なくお書きください)

(4) 業務に活かすために自己研鑽など取り組んでいることがあればお書きください。

(5) あなたは5年後どんな部署でどんな立場でどんな仕事をしたいですか？
どんな部署で どんな立場で どんな仕事を

安全対策についての取り組み：コンプライアンス遵守

京進倫理行動指針

問合せ先：人事部
作成日：2019/12/29 21:11
分類：人事管理に関する規程

京進倫理行動指針

【1】基本事項

コンプライアンス遵守の基本は、「法律」「社会の常識に従って行動する」ことが守られなければならない、問題はなくならない必要です。

(1) 法律や社内規程等で決められた

企業活動にはさまざまな法律が関係し、歌と違つて手続きを、それぞれの業種、また、会社にはさまざまな規則があり、必ずこれらの規則に従って業務を進めなければならない。自分勝手な判断をしない、万が一「会社のため」と判断してあれば違法行為を行った場合は社会的に厳しく罰せられる。

(2) 社会の常識に従って行動する

「京進倫理行動指針」には、現時点です、この指針に従って行動してください。行動指針にもすべてのケースがあるわけではない。各人が知識や経験を活かして、最後の決め手となる。

倫理行動指針、法令遵守冊子等により、全従業員への研修体系を確立する

飲

【飲酒運転】
「飲酒運転（酒気帯り運転）」とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。

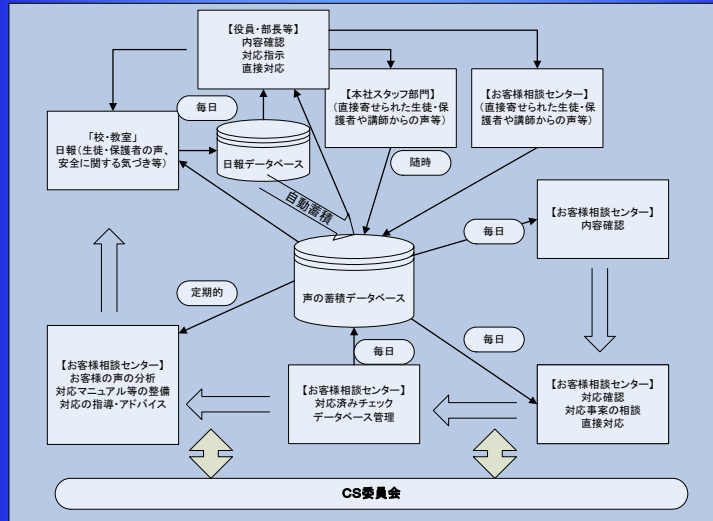
【飲酒運転（酒気帯り運転）】とは、飲酒後に運転（運転行為）を行うことを指します。飲酒後に運転を行うことは、法律で厳しく禁じられています。飲酒後に運転を行うことは、重大な交通事故の原因となります。飲酒後に運転を行うことは、社会的に厳しく罰せられます。



安全対策についての取り組み：日々の運用

日報と声の蓄積

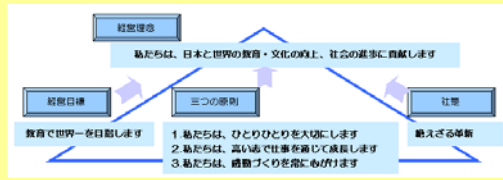
日常業務の中で、取り組むことが重要



中長期経営計画

長期ビジョン・目標

組織価値観



長期ビジョン（2000年発表 2025年：創業50周年） 日本一のインターナショナルな総合教育グループを目指す

- ・連結売上高3,000億円
- ・京都、ニューヨーク、デュッセルドルフ、北京の4本社制
- ・社内の主な会議はすべて英語で開催
- ・全社員数10,000人
- ・全生徒数500,000人
- ・開発途上国の発展を支援する施策を展開

長期目標（2012/2月期）

生徒のためNo.1、安全対策No.1、
信頼度No.1と評価される学習塾

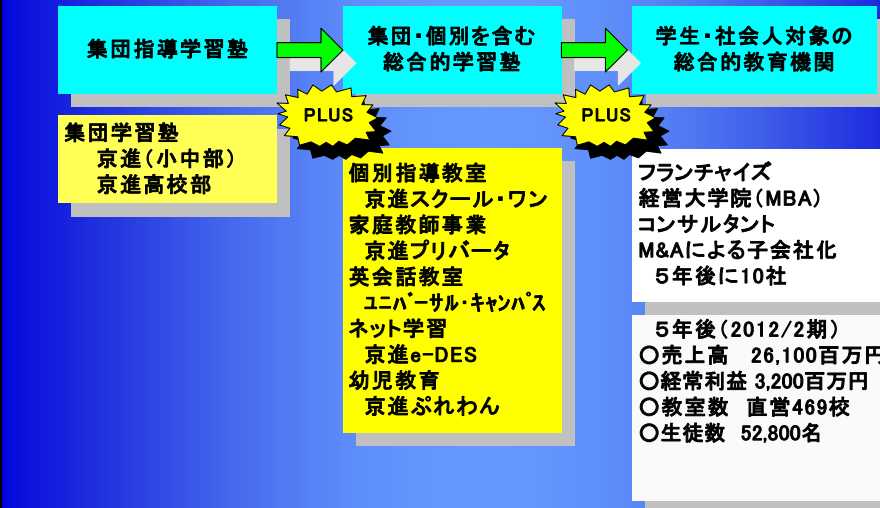
- ・連結売上高261億円
- ・経常利益32億
- ・教室数469校（全国4位）
- ・全生徒数52,800人（全国4位）

長期戦略課題

- ・全国出店展開（水平）・新規事業による顧客層の拡大⇒学生・社会人対象の総合教育機関へ（垂直）
- ・内部強化⇒顧客満足No.1（安全面を含む） 人材の確保及び育成：教育体系の強化
- 商品開発⇒より効果的な学習方法・個に対応したカリキュラム 合格実績のさらなる伸長、No.1の維持
- ・東証二部⇒一部上場（新生京進の創出、人材の確保、全国展開のためのブランドカアップ）

戦略課題		目標(時期記載無い箇所は2012/2)
商品戦略	■学力向上・合格実績を高める独自能力の強化 ■愛知・首都圏・全国の教務指導ノウハウの構築	■中学入試洛南高付属中でNo.1 ■高校入試愛知公立トップ合格者数100名 ■大学入試関西No.1
人材戦略 (ES戦略)	■出店を支える優秀な(理念を共有する)人材の確保 ■戦略課題実現のための人材の育成と成長 ■社員が活き活きと自主的、自発的に学べる職場・学習環境作り ■ライン部門の生産性向上のための業務改善	■2009/2社員数1,000名 ■経営大学院(MBA)設置 ■職場環境で学習塾No.1 ■従業員満足度で学習塾No.1
CS戦略	■顧客との長期的な信頼関係構築によるロイヤルカスタマー作り ■クチコミによるリピーター作り	■セルフアセスメントでAAA(2010/2) ■満足度調査向上
出店戦略	■個別指導教室の全国展開 ■個別指導教室のフランチャイズ事業の成功 ■新規展開エリアでの早期成功を実現するR&D ■M&Aの成功	■2011/2全都道府県出店 ■M&Aによる子会社化10社
広告戦略	■全国でのブランドイメージ構築のための戦略的広報活動	■Webマーケティング等を含めた体制
新規事業戦略	■新規事業立ち上げのための体制作り(総合教育サービス事業へ) ■0歳～老人対象の学習塾以外の事業立ち上げ	■2011/2までに10の子会社
海外事業戦略	■中国に学習塾を展開 ■開発途上国支援のための大学設立	■2008/2～ ■2011/2まで
CSR戦略	■地域評価、社会的信頼を得るための活動 ■障害者福祉への貢献	■安全行動のシックスσの達成 ■挨拶指導でNo.1 ■経常利益の1%以内での寄付

中長期構想



中期出店計画

中長期出店計画⇒内部充実を強化しつつ全国出店を行う

		22期	23期	24期	25期実績	26期	27期	28期	29期	30期	31期
		2003/2期	2004/2期	2005/2期	2006/2期	2007/2期	2008/2期	2009/2期	2010/2期	2011/2期	2012/2期
小 中 部	新設	7	3	2+子会社2	5	5	5	6	7	8	8
	校数	66	69	73	78	83	88	94	101	109	117
高 校 部	新設	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0
	校数	9	9	11	11	11	11	12	12	13	13
個 別 指 導 部	新設	21	27	27	32	17	27	30	33	36	40
	校数	57	84	111	143	160	187	217	250	286	326
英 会 話 事 業 部	新設	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1
	校数	2	3	3	3	3	4	5	6	7	8
家 庭 教 師 事 業 部	新設	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
	校数	1	1	1	1	1	2	2	3	3	4
そ の 他	新設	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	校数	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
直 営 全 社	新設	28	31	33	38	22	34	38	42	46	50
	校数	135	166	199	237	259	293	331	373	419	469
F C 事 業 部	新設			8	28	40	60	80	100	100	100
	校数			8	36	76	136	216	316	416	516
京 進 ブ ラ ン ド 全 体		28	31	41	66	62	94	118	142	146	150
		135	166	207	273	335	429	547	689	835	985

差別化戦略

コア・コンピタンス（強み）のさらなる強化

＜人材＞ 特に**教務面の強化**で差別化を図る

情熱のある人材集団	教育に情熱を燃やす、当社価値観に共鳴する人材
スタッフの充実	商品開発、情報収集と分析、マーケティング等の専門スタッフの充実
人材育成・研修体系	教務スキルの向上、教科別指導法、受験指導、ストレスマネジメントやカウンセリング、マネジメント研修等

＜教務＞

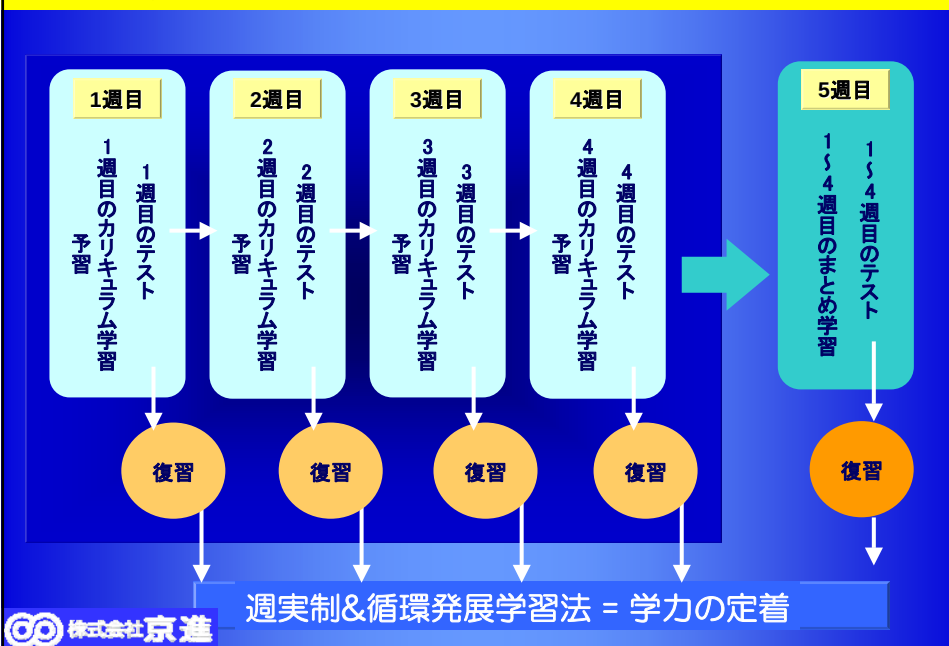
教務システム	「週実制・循環発展学習法」の独自システム、独自成績処理システム⇒合格実績
授業外フォローサービス	面談、懇談会、ホットライン等の標準化
マーケティング能力	市場ニーズに合った出店を可能にするマーケティング技術、人材、資金力
組織運営力、企画力	商品開発、各種イベントの企画

＜情報＞

豊富なデータ	過去の成績データやシステムによる分析と蓄積、活用
情報活用と分析 (IT)	各基幹システムの充実とグループウェアによる情報共有体制



差別化戦略 教務システム



差別化戦略 教務システム



学力・成績情報の迅速な提供
細かな分析データに基づいた面談重視

株式会社京進

差別化戦略：教務力

①教務研修...さまざまな内容で研修を実施

- 教科別授業王決定戦
- トレーニングセンター設置
- 授業アンケート結果による研修
- 教科会研修、地域教科会
- 「ぶれよん・さくぶん研修」等の商品研修

②判定テスト

- 週実制に則った毎週・毎月のテストにより学力定着
- 各種模擬試験・学力判定テストで、適切な進路指導を行う
同志社中学模試、立命館中学模試、適性検査模試、
西京洛北中模試、地域公立模試、特色選抜模試など
⇒地域教育環境の変化に対応して模試を開発

②内申対策

- 2学期制の学校増加⇒学期制に対応したきめ細かな定期テスト対策
- 副教科のテスト対策の実施

差別化戦略：合格目標

私立中学入試	25期実績	26期目標	27期目標	28期目標	私立小学入試	26期目標	27期目標	28期目標
洛南高校附属	18	20	25	30	同志社	4	8	12
洛星	15	30	35	40	立命館	4	8	12
同志社系	97	125	135	145				
立命館系	69	105	115	125				

高校入試で合格シェアを50%超へ！29期 洛南・膳所50%超へ

合格占有率50%超	
25期実績	同志社高校 彦根東高校
27期目標	立命館系高校
28期目標	堀川高校
29期目標	洛南高校 膳所高校

私立高校入試	25期実績		26期目標	27期目標	28期目標
	実績	占有率			
洛南高校	130	41.9%	135	140	150
同志社系	162	70.4%	165	170	175
立命館系	193	48.3%	195	200	210

公立高校入試	25期実績		26期目標	27期目標	28期目標
	実績	占有率			
滋賀膳所	175	39.8%	180	190	200
滋賀彦根東	192	53.3%	200	210	220
京都堀川探究科	66	41.3%	70	75	80
京都嵯峨野こすもす科	57	28.5%	60	65	70
京都西京エンタープライズ科	58	29.0%	60	65	70

高校部のみ大学現役合格	25期実績	26期目標	27期目標	28期目標
東大・京大	53	58	60	70
国公立大	337	380	400	450
同志社・立命館・関学・関西	561	600	650	700



差別化戦略：人材育成

現在の京進においての3本柱

JQA (Japan Quality Award)
経営品質向上プログラム
日本経営品質賞

アメーバ経営

KPIの追求
ex) 入室数・退室数
反応数・成約率
合格者数 等

考え方や価値観の浸透

- ・ 社外コンサルタントによる
経営セミナー (MBA) 実施 全6回
- ・ 社内JQA研修実施 全5回



社会貢献

開発途上国への支援

今年もミャンマーの聾啞学校への支援として、スクールバスを寄付しました。現在、学校に通う生徒たちの通学などに有効利用されています。経営理念である「日本と世界の教育・文化の向上、社会の進歩に貢献」するべく、今後も継続して支援を行ってまいります。

大切なひとを、
大切な自分を、
乳がんから守る。
ピンクリボン。



ピンクリボン活動への協賛

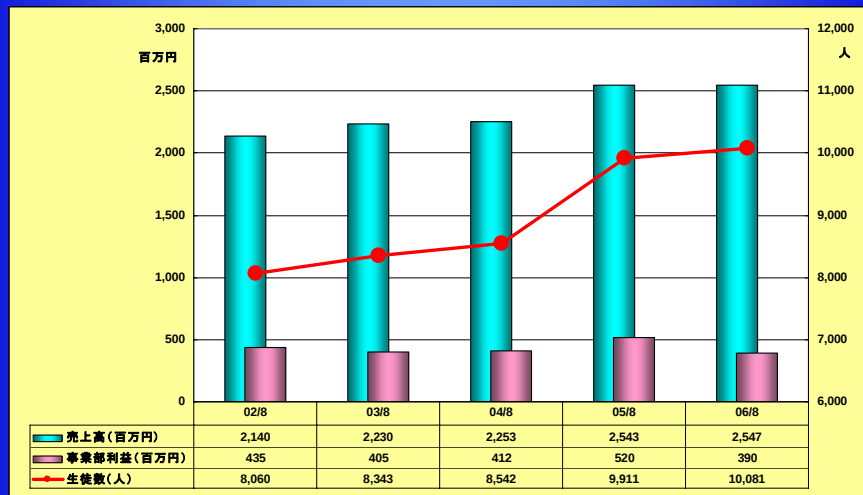
京進では乳がんの早期発見・早期診断を呼びかける「ピンクリボン京都」の活動に協賛しています。

◇ピンクリボンとは？

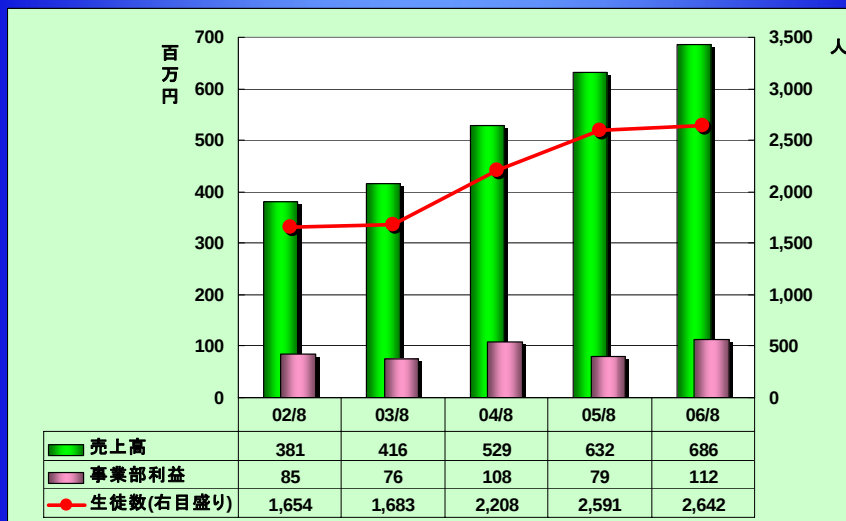
「ピンクリボン」は、アメリカで始まった、乳がん検診の大切さを普及する活動のシンボルマークです。アメリカでは、80年代に始まったこの活動を通して、乳がん検診への意識が改革され、多くの女性が定期的に検診を受けるようになり、乳がんによる死亡率が低下しました。現在、この活動は世界中に広まっています。

部門別 概況報告

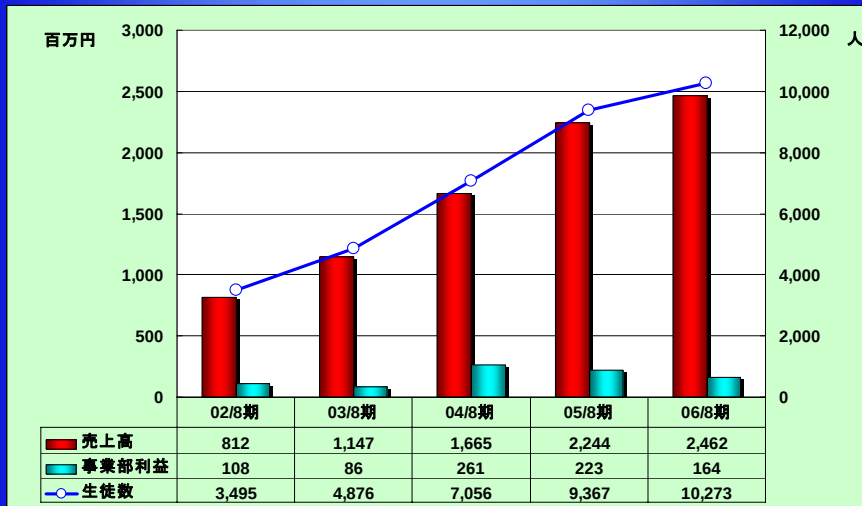
小中部の実績



高校部の実績



個別指導部の実績



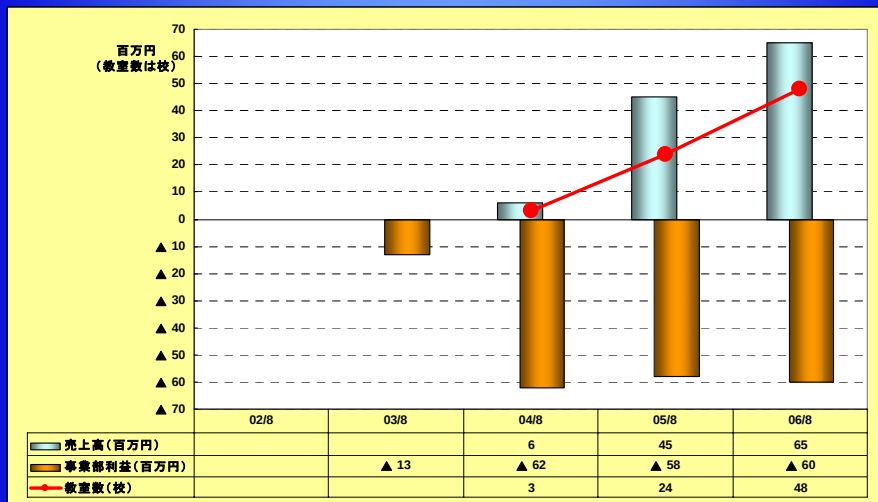
個別指導部の実績

個別指導部のみの合格目標（28期）

個別指導部のみの実績目標		25期実績	28期
大学受験	国公立大	209	380
	上智早慶・同立関関	414	650
	明治・青学・立教相当	31	150
	産近甲龍・日東駒専相当	582	1,200
中学受験	合格者総数	431	600

- ①志望校別カリキュラムの充足
- ②家庭学習を確保するための仕組みづくり
 - ・学習PDCAノートの導入
 - ・家庭学習Q&Aを教室にて実施

F C事業部



F C事業部

「京進スクール・ワン」フランチャイズ教室開校数

都道府県	開校校	開校数
東京	板橋、赤塚、西台、雪谷、船堀、東中野	6
埼玉	桶川	1
千葉	稲毛海岸、妙典、本八幡	3
神奈川	吉野町、片倉、鶴見、鷺沼、葛が谷、中央林間	6
愛知	勝川、池下、塩釜口、千代が丘、大府、国府宮、浄心、新瑞橋	6
長野	塩尻広丘	1
京都	栂辻、丹波口	1
大阪	阪急茨木、関目、牧野、鴻池、美章園、曾根、藤井寺	7
滋賀	浜大津、石山寺	2
兵庫	門戸厄神	1
奈良	高田市駅、西大寺	2
広島	西条、古市橋、段原	3
香川	紫雲、レインボー南	2
徳島	徳島駅前	1
福岡	下大利、姪浜、大橋	3
熊本	水前寺	1
鹿児島	谷山	1
06/10/10現在開校数合計		50